

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	057 地域再生計画・構造改革特区に係る総合調整及びその他庁内調整業務					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市職員
目的	政策立案及び事業企画に係る国や県等からの情報を収集し、庁内に共有するとともに、部局横断的な案件の調整を図る。
概要 (取組内容)	国や県等から市町村企画担当課宛てに展開される情報を収集し、庁内に周知する。 部局横断的な施策や事業の実施意向を尋ねられた場合に、担当部署を特定し、調整を図る。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	108	204	164	167	167	
	決算額	(千円)	39	195	39	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	39	195	39	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	390	2,409	2,415	2,342	2,342	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	150.00	150.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国等の制度の活用可能性について、全庁的に周知するだけでなく、活用を希望する部署からの相談を受けて、個別に意見交換をしながら検討した。	
成果	国等からの補助金・交付金の募集通知を庁内に周知することで、広く応募の機会を設けることができた。地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金、デジタル田園都市国家構想推進交付金を申請したことで財源を確保した。	
課題	業務	国等の政策動向と市の中長期計画との間で整合性を図る必要があるため、市全体の事業に関する知識や各課等との調整能力が求められることから、継続的な人材育成を要する。
	組織、予算等	継続的な人材育成をするため、交付金申請に係るノウハウの伝達が必要である。
改善目標	国等からの補助金・交付金の情報を速やかに庁内に周知し、活用を促進するとともに、市の事業計画に照らし合わせて、個別に伝達する機会を増やす。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	058 つくば市OB人材活動支援事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン	II-2	2	1	生涯にわたる学びの場の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
	-				16平和と公正をすべての人に	
	-				17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	高度な知識や専門技術を持つシニア（概ね50歳以上）、市民
目的	研究学園都市の特色である高度な知識や専門技術を持つシニア層の方々が、現役引退後もいきいきと活動できるよう支援する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な知識や専門技術を持つシニアの方が自らの専門分野を登録し、講師派遣や助言等を希望する方に「つくば市シニア・エキスパート」として紹介する。</li> <li>「つくば市シニア・エキスパート便覧」の作成・配布とともに、ホームページへの掲載により事業の周知を図る。</li> </ul>

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	345	76	9	9	
	決算額	(千円)	211	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	211	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	729	730	1,416	1,416	1,416	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市シニア・エキスパートの登録、ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	登録者の活動回数 ( 回 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	590.0	680.0	690.0	700.0	710.0	720.0
	実績	668.0	123.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策II-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備 指標2)					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が激減したものの、終息を見据え、パンフレットの作成・配布やホームページにおける周知を継続的に実施した。加えて、オンライン形式での対応を推進した。	
成果	オンライン形式での活動を推進すべく、「つくば市シニア・エキスパート便覧」にオンライン形式による活動についての項目を新たに設けたことで、感染拡大期においても活動を可能とする環境を整えることができた。	
課題	業務	登録者の高齢化に伴い、活動の継続を断念する場合が見受けられる。加えて、定年延長を始めとする雇用制度の変化により、新規登録者数が減少傾向にある。
	組織、予算等	-
改善目標	継続した周知を図るとともに、利用者のニーズや登録者の活動意欲に沿った効果的な活用方法を検討する。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	060 市長公約事業のロードマップ事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市民
目的	公約事業の着実な実施を図る。
概要 (取組内容)	市長が選挙時に掲げた公約における6本の柱、135事業について、実施時期と工程等を各個票に落とし込んだロードマップを作成した上で、進捗管理や評価を実施し、毎年1回公表する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	256	70	0	0	0	
	決算額	(千円)	110	7	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	110	7	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,148	5,374	4,587	5,368	5,368	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.65	0.70	0.60	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	300.00	250.00	200.00	240.00	240.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	ロードマップの公表と市民意見の募集
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年12月に公表した市長公約事業のロードマップ2020-2024について、令和3年6月に令和3年度の予算額を入れたものを公表し、各事業の進め方を再度確認した。	
成果	ロードマップにおける各事業の令和3年度以降の予算見込額を示すことで、今後4年間の事業の見通しについての情報を市民に提供することができた。	
課題	業務	第一期ロードマップと比較した公約事業の増加に対して、効率的な評価の実施を進める必要がある。
	組織、予算等	令和3年度末の進捗評価を踏まえて、各事業の進め方について、担当課が市長・副市長と協議する仕組みを検討する必要がある。
改善目標	令和3年度末の進捗評価を効率的に実施して各事業の進め方を再度確認した上で、市長公約事業のロードマップ2020-2024を改訂し、今後の事業の見通しについての情報をわかりやすく市民に提供する。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	061 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合「幸せリーグ」					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合規約			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	幸せリーグ参加自治体					
目的	住民の幸福実感向上に向けた基礎自治体間の相互の連携・協力、自治体職員の学びの場を設けることにより、基礎自治体が互いに切磋琢磨し、行政運営の一層のレベルアップを図る。					
概要 (取組内容)	幸福度の研究、住民の幸福実感向上に向けた施策等について情報交換及び意見交換を行うとともに、全国にその内容を発信し、基礎自治体における幸福度の取組を広める。 調査研究、意見交換、交流等を通じて、参加基礎自治体の職員の育成を図る。 実務者会議に参加し、テーマごとにグループに分かれ、年に数回集まって政策に関する議論を行う。					

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	17	17	18	18	
	決算額	(千円)	0	0	5	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	730	733	733	733	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	会議資料や寄稿文から得られた情報を基に、当市の施策や事業の改善について検討した。	
成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、加入自治体が一堂に会しての会議は実施できなかったが、有識者の講演や加入自治体の先進的な取組紹介等のオンライン開催により情報を得ることができた。また、当市のコロナ禍での取組について寄稿し、他自治体と共有することができた。	
課題	業務	実務者会議がオンライン開催であったため、加入自治体間で施策や事業について互いの意見を交換する機会が得られなかった。
	組織、予算等	実務者会議で得られた情報について、庁内でどのように共有するか検討する必要がある。
改善目標	実務者会議に参加し、住民の幸福度向上につながる取組についての情報を収集するとともに、得られた情報を庁内で共有することを通して施策や事業の改善につなげる。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	062 首都圏業務核都市首長会議事務					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	多極分散型国土形成促進法、首都圏業務核都市首長会議規約			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	業務核都市に位置づけられた21市
目的	業務核都市に位置づけられた市の意見交換や連絡調整を行うとともに、共同で国への要望等を行う。
概要 (取組内容)	多極分散型国土形成促進法に基づき、首都圏業務核都市として位置づけられた21市の首長が年1回会議を開催し、業務核都市の育成整備等について意見交換を行う。 幹事会議（担当部局長等が出席）を年3回開催し、国の動向等の情報を収集するとともに、国に対して要望活動を実施する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	20	38	31	31	31	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	729	730	733	733	733	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の影響で、前年度と同様、幹事会が開催されなかった。	
成果	書面での首長会議を経て、国土交通省に業務核都市の育成整備等に関する要望事項を提出することができた。	
課題	業務	広く国土交通行政の動向を把握しながら、市の施策や事業の推進に資する情報を収集することが必要である。
	組織、予算等	-
改善目標	幹事会が開催された場合には、市の施策や事業の推進に資する情報を積極的に収集する。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	063 国・県に対する予算等要望					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	国及び県
目的	市政の推進に必要となる政策や予算に関して国及び県に要望する。
概要 (取組内容)	関係部署から要望内容を取りまとめ、要望先へ要望書又は要望事項を提出する。茨城県予算編成等要望については、つくば市固有の課題を中心に要望書をまとめ、知事に手渡す。県政要望及び全国市長会関東支部総会提出案件については、広域的な課題を中心に要望事項をまとめる。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	135	63	20	19	19	
	決算額	(千円)	1	4	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1	4	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,282	2,286	2,294	2,245	2,245	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	100.00	100.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度実施した要望内容に係る進捗状況を確認の上、継続要望の要否を検討し、要望事項を精査した。	
成果	予防接種等に関する財政措置、県道への自転車道整備、新型コロナウイルス感染症による影響を受ける地元企業への支援施策など、本市が推進する事業に関連する要望を実施することができた。	
課題	業務	県への要望事項の中には、実現可能性が低いと想定されるものがあるため、今後どのようにして実現を目指していくのか検討する必要がある。
	組織、予算等	要望実施により得られる効果と人的コストを比較し、適切な実施方法を再考する必要がある。
改善目標	要望の実現が難しい事項について、要望書の記述内容の見直しや、県の担当者との直接交渉など方法を再考するなど、実現に向けた方策を検討する。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	064 友好都市交流事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	友好都市提携協定（荒川区、郡山市）			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	友好都市提携協定を締結した自治体、市民
目的	地域間交流を促進し、広範な分野での都市間交流を図る。
概要 (取組内容)	友好都市提携協定を締結した2都市と都市間交流を行う。 荒川区（平成20年（2008年）5月28日 協定締結） 郡山市（平成26年（2014年）10月31日 協定締結）

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	159	154	75	76	76	
	決算額	(千円)	23	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	23	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	729	730	733	733	733	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	友好都市との交流回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	5.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	郡山市とのオンライン会議を通じて、学校給食の運営方法やオリンピック・パラリンピックホストタウンの取組について意見交換を行った。	
成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、直接交流するイベント等は実施できなかったが、各自治体のパネル展示や特産品等の抽選会、市民が作成した灯ろうの巡回展示等、様々な形で交流事業を実施し、都市間交流を進めることができた。	
課題	業務	イベント等での交流だけに留まらず、市政推進の参考とするため、各自治体の施策や事業の実施状況に対する理解を深める必要がある。
	組織、予算等	荒川区と郡山市は共に自治体間交流の担当部署が設置されており、イベントを通じた交流が目的であるため、本市における組織のあり方を検討する必要がある。
改善目標	市政推進の参考とするため、各自治体の施策や事業の実施状況を把握し、理解を深める。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	065 地方版図柄入りナンバープレート事業					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方版図柄入りナンバープレート導入要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市民、事業者
目的	走る広告塔としてつくばナンバー地域の魅力を発信するため、図柄入りナンバープレート交付推進のためのPR活動を行う。
概要 (取組内容)	つくばナンバー交付対象の13自治体で構成する「つくば地域図柄入りナンバー推進協議会」が、地方版図柄入りナンバープレートの普及促進事業を地域一体となって実施する。 地方版図柄入りナンバープレートの交付により得た寄附金の活用方を検討する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	100	100	50	50	50	
	決算額	(千円)	103	50	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	103	50	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,232	1,508	1,513	1,465	1,465	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	60.00	60.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	図柄入りつくばナンバー申請件数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,000.0	7,500.0	10,000.0	13,000.0	16,000.0	19,000.0
	実績	5,570.0	8,251.0	11,892.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	関東運輸局調べ					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	PR活動については、感染症の影響でイベント会場における活動ができなかったものの、「申請件数10,000件達成」を会員自治体が一斉に各広報紙に掲載し、制度の周知に努めた。また、寄附金活用事業については、対面協議など各会員自治体の意向をくみ取れる方法で検討を進めることとした。	
成果	継続した普及促進活動により、申請件数は関東運輸局管内で首位を維持するとともに、「申請件数10,000件」も達成しており、市民からも一定程度の関心が寄せられていることが推察でき、地域の魅力発信につながっている。	
課題	業務	寄附金活用事業を効果的に実施するための検討を進める必要がある。
	組織、予算等	-
改善目標	寄附金活用事業について、各会員自治体の意向をくみ取りながら検討を進める。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	066 ユニバーサルデザイン推進事業						
予算科目	01-020108-11	企画調整に要する経費				担当部課	政策イノベーション部企画経営課
市長公約	52					係名	企画調整係
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針					事業期間	毎年度
根拠法令等	バリアフリー法、ユニバーサル社会実現推進法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを
							16平和と公正をすべての人に
							17パートナーシップで目標を達成しよう

## 事業の概要

対象	市民、市、事業者、市民団体、NPOなど
目的	誰もが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現に取り組む。
概要 (取組内容)	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づいたまちづくりを全庁的に推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修（人事課）</li> <li>・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理</li> </ul> バリアフリーマスタープランを令和5年度までに策定する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	80	80	80	7,509	7,509	
	決算額	(千円)	79	79	79	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	79	79	79	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	390	730	2,221	5,076	5,076	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.05	0.10	0.30	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	70.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	当事者団体が主催するまち歩き点検、学習会への参加
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	ユニバーサルデザイン職員研修参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	75.0	0.0	138.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和5年度までにバリアフリーマスタープランの策定を目指すため、令和4年度予算額や今後のスケジュール等の検討を進めた。	
成果	バリアフリーマスタープランの策定に向けて、当事者団体が主催するまち歩き点検や学習会に参加し、情報収集を行うことができた。これらの情報を基に、令和4年度予算に反映することができた。	
課題	業務	バリアフリーマスタープランを策定するためには、都市計画、公共交通、地域福祉など関連施策との整合性を図る必要がある。
	組織、予算等	関係団体や市民団体との連携が不可欠であり、調整に多くの時間を要することから、人員の拡充が必要である。
改善目標	令和4年度に基礎調査を実施し、バリアフリーマスタープランの策定に向けて、関連施策との整合性を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和5年度までにバリアフリーマスタープランを策定するため。

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	070 民間企業との包括連携協定					
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	企画調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	-			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	民間企業
目的	市政推進のために市と民間企業との役割を明記した協定を締結することで、官民連携を推進し市民サービスの向上を図る。
概要 (取組内容)	全庁横断的な施策等における連携を推進するため、連携事項を調整し、相互の役割を明記した協定書を取り交わす。また、協定の締結後は、相互の提案により連携を推進する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	5	2	5	5	
	決算額	(千円)	0	12	7	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	12	7	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,188	2,196	2,148	2,148	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	60.00	60.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	全庁的に連携事項を照会し、各部署における課題解決に民間企業の力を取り入れた。	
成果	令和3年4月にあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との包括連携協定を締結した。	
課題	業務	民間企業からの事業提案を、各部署が所管する事業、または各部署における課題解決に結びつけるための調整に、多くの時間・労力を必要とする。
	組織、予算等	-
改善目標	引き続き、市の課題解決につながる効果的な連携協定となるよう調整する。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	073 行政経営懇談会					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市民
目的	複雑多様化する行政環境の下で、有識者及び市民から広く意見を聴き、分権時代にふさわしい効率的で効果的な行政運営にいかす。
概要 (取組内容)	懇談会における、以下の協議事項についての提言を受け、市長に報告する。 (1) 行財政改革に関すること。 (2) 行政評価に関すること。 (3) その他、行政運営の推進に関し必要と認める事項に関すること。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,507	267	563	563	
	決算額	(千円)	495	648	339	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	495	648	339	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,213	1,510	1,766	1,611	1,611	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.45	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	65.00	61.00	164.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	会議の傍聴、会議録の公開
企画・立案、計画	特になし
実行	市ホームページでの意見募集（いばらき電子申請による）
評価、検証	審議会等に関するアンケート（市民委員対象）、市民委員意見交換会

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	開催時間の設定やオンライン会議の活用等会議出席環境を整えた。また、対面とオンラインとのハイブリッド形式で会議を開催する際、市役所会場参加者の机上にタブレット端末を設置し、オンライン参加者から、会場参加者の表情等がわかるように工夫し、より円滑な意思疎通ができ、快適な参加環境を整えた。	
成果	前年度懇談会から提言を受けた内容を掘り下げ、オンラインを活用した市民参加の推進について協議、提言いただき、若い世代を中心とした参加者層の拡大に向け、効果が得られた。	
課題	業務	行政経営懇談会で主として取り上げてきた戦略プランの施策評価に関する協議事項が、つくば市未来構想等推進会議に移管されたため、提言を受ける協議事項について整理する必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	R4年度市民参加指針の検証を行うに当たり、適切な手法の検討を行う。R5年度以降の行政経営懇談会の在り方や会議で扱う協議事項等について検討を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	074 行政評価事業					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民
目的	効果的、効率的で質の高い行政サービスの実施
概要 (取組内容)	「P・D・C・A」のマネジメントサイクルにより、事務事業の継続的な改善に取り組む。市の現状、課題等を客観的に把握し、各施策や各事務事業の業務改善等に活用する。 事務事業評価の実施、窓口サービスアンケートの実施 等

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	97	89	45	45	
	決算額	(千円)	66	78	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	66	78	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,337	2,272	2,917	2,832	2,832	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.45	0.30	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	115.15	94.45	75.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	評価結果公表（ホームページ）
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	改善が取り組まれた事務事業数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	927.0	870.0	881.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	事務事業の終了や統合等により、事務事業数は毎年度変わる。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	現在使用している行政評価システムの仕様で想定外であった、公営企業会計へ移行した上下水道関係課室の事務事業評価を現システムで管理するため、各事務事業に関する予算名及び予算コードの個別作成を行った。R3年度末事務事業評価に当たり、過去の問合せを整理した「よくある問合せ一覧」を作成した。	
成果	事務事業評価結果の公表に当たり、所管部局単位で概要と成果を抽出した一覧を作成することで、検索性を高め、市民にわかりやすいものとした。また、事務事業所管課室の新旧対照表を作成することで、当課の事務事業の所管変更の把握を円滑に行うことができた。	
課題	業務	決算認定の説明資料等、業務管理目的で類似資料の作成がみられる。また、新規事業の立ち上げに伴う組織改編や職員の課室等兼務が増加しているが、現在のマネジメントシートで対応できていない。
	組織、予算等	特になし
改善目標	財政課が作成する主要施策の実績報告書との連携等について、検討を行う。また、新規事業の立ち上げに伴う組織改編や職員の課室等兼務の増加等に対応できるよう、事務事業の統合や事務事業マネジメントシート作成対象事業等の再検討を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	075 パブリックコメント手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市パブリックコメント手続に関する要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市民、市職員
目的	市民の市政への積極的な参画を促進し、市民に対する説明責任を果たす。
概要 (取組内容)	市ホームページにおける実施予告の上、所定の場所での閲覧及び市ホームページへの掲載により計画等を公表し、案件に対する市民の意見を約1か月間募集する。実施機関は、市民から提出された意見を考慮して意思決定を行い、提出された意見及びこれに対する市の考え方を公表する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,361	1,508	1,477	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	1.50	60.00	45.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて当該年度に実施する予定のパブリックコメント手続の案件公表
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

指標名	案件当たりの提出意見数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	26.2	28.2	75.6	0.0	0.0
指標の概要	パブリックコメント手続を実施した案件1件あたりにおいて提出された意見数（小数点第2位以下四捨五入）					

2	指標名	意見募集を行った案件の数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	13.0	17.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	パブリックコメントを実施した案件の数 ※令和3年度追加※					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	パブリックコメント制度の認知度向上に向け、引き続き市HPで実施状況を公表した。	
成果	担当課と連絡を密に行い、パブリックコメント手続きの実施及び市HP等を通じた市民への周知を支援し、市民との協働による市政を推進した。	
課題	業務	前年度改善目標に掲げたパブリックコメント実施案件に関連する分野に興味がある市民へ市からアプローチする仕組みの検討を進めることはできなかった。引き続き、多くの意見が集まるよう工夫を図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き、パブリックコメント手続を実施しようとする担当課への支援を行うとともに、市民との協働による市政の推進にあたり、その他の市民参加手法とあわせて助言、周知を行っていく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	076 指定管理者制度手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン	II-4	2	2	民間活力導入の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	指定管理者制度に関する基本方針				事業期間	毎年度
根拠法令等	公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				SDGs	11住み続けられるまちづくりを
						17パートナーシップで目標を達成しよう

## 事業の概要

対象	市民、事業者、市職員
目的	住民サービスの向上を図るとともに、施設運営経費等の効率的活用を図る。
概要 (取組内容)	各担当課に対し指定管理者導入事務に係る調整、支援に加え、新規導入施設を把握するため導入調査を実施するとともに、新規及び更新施設を対象として、指定管理者候補者選定検討会議を実施する。また、指定管理者による継続的・安定的な管理・運営を目指し、第三者評価を含めたモニタリングの実施を支援する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	911	385	699	279	
	決算額	(千円)	0	0	281	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	281	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,035	1,532	4,390	4,147	3,855	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	70.00	400.00	300.00	180.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	市ホームページでの情報発信
評価、検証	公の施設指定管理第三者評価会議の開催

## 指標の推移

1	指標名	指定管理者選定件数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	6.0	1.0	5.0	1.0	3.0
	実績	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	指定管理の更新を行う指定管理施設数						

2	指標名	( )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和2年度実施できなかった第三者評価を指定管理者制度導入から3か年経過した5施設を対象に実施した。	
成果	前年度における指定管理者による施設の管理運営状況を市ホームページで公表することで、事業の透明性を確保し、市民に適切な情報を提供することができた。また、第三者評価では、書類点検と現地視察を実施し、自己評価では気づきにくい課題の発見やサービス向上に向けた意見を外部委員から聴取した。更新時期を迎える施設については、スケジュールどおり選定事務を進めた。	
課題	業務	指定管理者による施設の管理運営状況に係る内部評価については、評価項目に対応する評価根拠を明確にしていく必要がある。また、第三者評価については、委員の時間的制約のなかで相当程度の作業量を要した。いずれについても的確に実施するには、実施時間の大幅増加や調書の見直しの必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	選定及び評価を円滑に実施できるようスケジュール管理や提出書類の精査を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	077 職員提案制度					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

## 事業の概要

対象	市職員
目的	市政の更なる発展と職員の意識改革及び士気の高揚を図る。
概要 (取組内容)	職員から、①事務事業提案、②身近な提案、③改善結果報告の提出を求める。これらについて、調査会議（課長級）にて調査及び審査を実施し、審査委員会（副市長・部長級）にて審査を実施し、表彰候補の選定を行い、市長に報告し表彰を決定する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	50	50	0	0	0	
	決算額	(千円)	8	22	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8	22	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,379	1,532	1,489	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	8.75	70.00	50.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	職員提案・改善報告件数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	30.0	42.0	22.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	年間の提案総件数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	提案結果のフォローを行い、情報発信することで本制度の活性化を図ることとしていたが十分に取り組むことができなかった。	
成果	職員から提出のあった提案（①事務事業提案3件、②身近な提案17件、③改善結果報告2件）について、調査会議（課長級）・審査委員会（副市長及び部長級）を経て、改善結果報告2件の表彰を行い、庁内の改善の取組に向けた意識改革の重要性を発信した。特別職を含めた意見交換により、今後の組織活性化に向けた取組を進めることを確認した。	
課題	業務	事業目的の達成に向けたアプローチの見直しが必要
	組織、予算等	着実かつ段階的に職員の意識改革を進めるにあたり、課題把握を行うことが必要
改善目標	職員の実感と納得感が得られるよう段階的に改革を進めるため、職員が仕事上で抱える小さな不便や課題の把握を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	休止
理由	アプローチの検討を行う

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	078 PPP/PFI優先的検討規程策定事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン	II-4	2	2	民間活力導入の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ

## 事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設等の整備・運用に際し、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進める。
概要 (取組内容)	公共施設等の整備及び運営を計画するに当たり、従来型手法に優先してPPP/PFI手法を検討するためのルール作りを検討する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	2	2	
	決算額	(千円)	6	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	680	684	684	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度に引き続き、国や関係機関から提供を受けた情報の確認を行った。	
成果	実務担当者向け全国説明会（オンライン）への参加等により、国から提供された優先的検討規程の運用定着のポイントや参考事例等の情報収集を行った。	
課題	業務	令和3年6月21日付け府政経シ第401号、総行地第92号で内閣府及び総務省からPPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定及び運用について人口10万人以上の団体に対して要請を受けており、規程の策定及び運用体制の検討が必要。
	組織、予算等	PPP/PFI事業に対する理解やノウハウの不足や人手の不足
改善目標	施設整備事業等の所管課や契約事務所管課と連携を図り、規程の策定及び運用体制の構築を進めていく。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	080 市民参加推進に関する事業						
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費				担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約	16				係名	行政経営係	
戦略プラン	I-1	3	1	市政情報等の発信		新規・継続	継続
	I-1	3	2	審議会等への公募市民委員の参加推進		事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市市民参加推進に関する指針				事業期間	毎年度	
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
						17パートナーシップで目標を達成しよう	

## 事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学している人を含む）、市職員
目的	市政運営の過程において、市民が市政に意見を反映させるための機会をつくる。
概要 (取組内容)	市民参加の実施予定及び結果の取りまとめ、公表 各課等で所管する附属機関及び懇談会等の市民委員選考状況の管理 無作為抽出による委員等候補者の登録管理 市民委員意見交換会及び市民委員アンケートの実施 庁内アンケートの実施

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	537	6	25	7	
	決算額	(千円)	70	15	13	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	70	15	13	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,823	1,510	2,294	2,172	2,172	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.20	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	44.25	61.00	100.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	市民委員意見交換会
実行	市ホームページでの情報発信、市民委員意見交換会、市民委員アンケート
評価、検証	行政経営懇談会

## 指標の推移

1	指標名	審議会等で自身の意見を言うことができた市民委員 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	86.6	82.0	83.4	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	審議会等に参加した市民委員へのアンケートで、意見を「言うことができた」「どちらかというと言うことができた」と回答した人の割合					

2	指標名	市民委員を募集した附属機関及び懇談会等 ( % )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市民委員の募集が可能な附属機関及び懇談会等のうち、実際に市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合（個別施策 I-1-③市政への市民参加の推進 指標 1）					
3	指標名	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	34.0	0.0	38.0	40.0
	実績	29.4	0.0	30.7	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合（基本施策 I-1 市民と共に創るまちづくりを推進する 指標）					
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	R4年度の委員等候補者名簿更新に向け、同意書等の内容の再検討を行った。市民委員の募集に当たり、審議会等所管課に広報紙等の従来の手法に加え、窓口でのチラシ配布等を活用することを伝えた。市の審議会等について広く市民に理解してもらうための周知方法は、引き続き検討を続ける。
成果	R2年度市民参加取組実施状況について、つくば市行政経営懇談会で報告し、意見等をいただいた。また、オンラインを活用した市民参加の推進について、アンケートや市民委員意見交換会、つくば市行政経営懇談会からの意見を元に、庁内向けの手引きを作成し、若い世代を中心に新たな参加のきっかけづくりを進めた。
課題	<p>業務 「つくば市民意識調査」の「あなたは、つくば市には、市民が市政に参加できる環境が整っていると思いますか。」という設問に対する「わからない」の回答率が、H29年度調査で27.0%、R1年度調査で28.7%、R3年度調査で32.7%と増加しており、市民に市民参加の取組が浸透していない。</p> <p>組織、予算等 特になし</p>
改善目標	つくば市の市民参加について市民に周知するため、R4年度に更新となる無作為抽出による委員等候補者名簿の効果的な活用方法を検討する。参加者の声などをホームページ等に掲載する。

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	081 未来構想等推進事業					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

## 事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する人を含む）、市職員
目的	つくば市未来構想及び戦略プランの着実な推進により持続可能なまちづくりを進める。
概要 (取組内容)	つくば市未来構想を運用して行くに当たり、毎年度の進捗管理を行う。 未来構想等推進本部、未来構想等推進会議、未来構想等幹事会、未来構想等専門部会の運営。 第2期つくば市戦略プラン（2020年～2024年）施策評価の実施。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,037	533	533	
	決算額	(千円)	0	191	348	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	191	348	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,966	5,613	5,635	5,635	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.40	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	100.00	341.00	350.00	350.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市HPにて取組状況を公表
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	未来構想等推進会議（広く関係者の意見を聞く場）

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	第2期戦略プランの初年度における施策評価を行った。	
成果	令和2年度構築した未来構想等推進本部、推進会議の枠組みのなかで、共通の施策目標を掲げる専門部会で率直な情報交換を行い、連携意識の醸成や、関連する施策の取組状況の把握により、出席職員の気づきの場をつくり、計画推進の環境づくりを進めた。	
課題	業務	課題解決や成果の共有が図れるよう、専門部会をはじめとした未来構想等推進本部における取組の見直しが必要。また、施策評価手法の確立に向けて評価項目、実施方法等の見直しを進めることも必要。
	組織、予算等	新たに導入した基本施策評価とその評価を行う専門部会の運営にあたり、事務局の大幅な事務量増加がみられることから投入コストに見合った成果が得られるよう会議の目的を明確し、意見の質と量を担保することも必要。
改善目標	専門部会を中心とした庁内検討体制においてデータに基づく議論ができる環境づくりを進め、計画推進を行う。	

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	953 大規模事業評価制度手続事務					
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費			担当部課	政策イノベーション部企画経営課	
市長公約				係名	行政経営係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針、つくば市大規模事業評価委員会条例、つくば市大規模事業を実施する際の評価に関する要綱			SDGs		

## 事業の概要

対象	市職員（附属機関委員を含む）					
目的	大規模事業を実施する際に、事業の着手の妥当性を検証し、市としての対応方針の決定に資するとともに、意思形成過程の透明化を図る。					
概要 (取組内容)	内部評価（職員）及び外部評価（有識者で構成する附属機関）による大規模事業評価を実施するとともに、その過程及び結果を公表する。					

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	781	781	240	269	269	
	決算額	(千円)	0	0	433	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	433	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,385	3,342	1,513	1,513	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.20	0.40	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	10.00	250.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	大規模事業評価実施件数 ( 事業 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	大規模事業評価を実施した事業数					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和3年度第1回大規模事業評価委員会にて、制度導入後適用除外とした案件（令和元年度2件、令和2年度4件）を報告した。	
成果	適用除外案件の公表（1件）や大規模事業評価委員会による評価事業の調査・審議とその開催状況の公表により、市の事業実施判断の妥当性の検証と市の意思形成過程の透明化が図られた。また、予定案件調査を実施し、職員へ当該制度周知や大規模事業評価対象案件の把握を行った。	
課題	業務	制度導入（平成30年）から初めての評価を実施したところ、制度導入時に想定した以上に大規模事業評価委員会の調査・審議の作業量と時間を要した。
	組織、予算等	大規模事業立案時の重要検討事項について職員の理解浸透を図る必要がある。
改善目標	評価会議（庁内会議）の自己評価及び大規模事業評価委員会（附属機関）の調査・審議の円滑実施に向けた運用マニュアルの充実等を図る必要がある。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	—